

出前講座に行ってきました！

12月6日、社会福祉法人白蓮もりやま作業所へ出前講座に行ってきました。「楽しく身体を動かそう」というテーマで、体操や手遊び、ダンスなどを、利用者様約40名とご家族の方と一緒にしました。皆さんに楽しんで頂けたようで良かったです。また、普段作業所の合間のできる運動を教えてほしいとリクエストを頂きましたので、運動メニューを作成し、後日お渡しに行きました。素敵なご縁が今後も続くと良いと思います。



ナースステーション
作業療法士
西川美里

新入職員のご紹介

●2024年10月以降に入職された方です



★上野順子さん
(リハビリサポートゆうらいふ)



★寺崎正さん
(リハビリサポートゆうらいふ)



★丸尾梨紗さん
(小規模多機能サービス花梨)



★木村明日香さん
(小規模多機能サービス花梨)



★インドリさん (ぐるーぷほーむ花梨)



★浅野泰子さん
(ぐるーぷほーむ花梨)

★萩原千晴さん (ぐるーぷほーむ花梨)

★林田俊子さん (グループホームすいれん)

専門職によるコラムコーナー プロフェッショナル リレーコラム

Vol.26

看護師

かわばた ふみえ
川端 扶美枝



ゆうらいふに入社し、早8年が経ちました。この8年間は“リハビリサポートすいれん”で看護師・機能訓練指導員として日々ご利用者様の運動機能の維持・改善に繋がられるよう努めてまいりました。現在は、昨年9月に異動した“らいふステーション憩い”で働いています。憩いを利用される方々の日常生活に密に寄り添う毎日、沢山の会話を通し、様々な人生模様に触れ、生きる事の奥深さを改めて知る毎日を過ごしています。私の趣味は“食う・寝る・喋る”です！人と会い、共に食べ、笑う事！一緒に楽しいひと時をつくりましょう☆



バトンを渡した人：奥村修平さん(介護職員) 2024年10月号登場

地域交流・イベント

守山高校吹奏楽の演奏会

12月20日にすいれんに守山高校吹奏楽部の学生さんが来て演奏会を開催してくださいました。アンサンブル演奏で子供から大人まで楽しめる曲や、ハンドベルクイズ、急なお願いにもかかわらずアンコールにもお応え下さり、素敵な演奏会になりました。



ゆうらいふ ●デイサービス ●総合事業 ●事務局
〒524-0214 守山市立田町1231-4 ☎077-585-4070

すいれん ●グループホーム ●デイサービス ●保育所
〒524-0001 守山市川田町1541-4 ☎077-584-2772

花梨 ●小規模多機能型サービス ●グループホーム ●保育所
〒524-0214 守山市立田町4135-1 ☎077-599-0531

憩い ●居宅介護支援事業所 ●小規模多機能サービス
●ナースステーション●ヘルパーステーション●定期巡回
〒524-0014 守山市石田町735-3 ☎077-584-2300

特定非営利活動法人ゆうらいふ
事務局
守山市立田町1231-4
TEL：077-585-4070



【Web】<https://www.youlife.ne.jp>
【メール】info@youlife.ne.jp

ゆうらいふ通信

2025年1月号



昨年11月 青空の下
すいれんマルシェを
楽しみました！



トピックス

ゆうらいふエッセイ
好評更新中！

NPOゆうらいふ



- 新年のごあいさつ
- 職員紹介
- ゆうらいふトピックス
- リレーコラム「プロフェッショナル」
- 地域交流イベント など

新年のごあいさつ

理事長 山田 亘宏



ゆうらいふの利用者・ご家族、また地域からご支援を頂いている皆様、新年明けましておめでとうございます。新たなお気持ちの中で、健やかに新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

皆様も、長いようで短い人生、を様々に喜び、しかし苦難を抱え過ごしてこられたことと推察いたします。

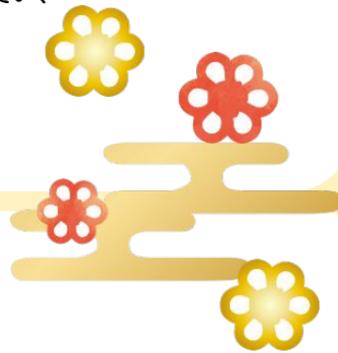
そのような中で、引き際というか、潮時というか、そのような時期を持つときが人にはあるもので、皆様もお持ちのことと思います。その「気持ちの切り替える時」「潮時」に新年というものを使う、新年というものがある、と言うか作ってあるんやなあ、とお正月の度に考えており、人間というものの賢さに感嘆いたしております。

今年こそは!!!、ですね。

さあ、今年も自分のことは許す限り自分でやり、平穩に、焦らず転ばず、食べるものはしっかり食べて、誤嚥は起こさず、かといって若者は上手に使い、一日一日を大切に楽しく過ごして参りましょう。

めでたさも 中くらいなり おらが春 一茶

ゆうらいふはこのような皆様に全力でご支援を続けて参ります。変わらぬご支援をお願い申し上げます。



明けましておめでとうございます

常務理事 津田征志

昨年の医療・介護のダブル改定は”住みなれた我が家・地域で最期の時まで！”を支援するゆうらいふの礎となり、事業を推し進めることができました。

本年も「ゆうらいふ地域包括ケア（通所・訪問・小規模・GH等）」を充実させ、相談業務（ケアマネ）が下支えし“我が家で最期まで！”を希望される方の支援を行います。

また、高齢者以外の方々を含む、生活相談支援を行う体制を整えて参ります。市民の皆さまに選んでいただけるサービスを提供できるよう組織体制を強化し、DXの更なる推進で専門性を活かせる環境作りと高める教育、研修の構築を行うことで、サービスの質向上と職員の働きがい向上に努めてまいります。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

研修報告

ACP（人生会議）研修を全職員に実施して…

ゆうらいふは当初より在宅サービスに特化し「住み慣れた我が家で最期の時まで♥」を叶える体制を整えてきました。

今年度全職員へACPの研修①②をグループワークで行いました。皆さん我が事・両親の事♥ととらえ、家でも会話を重ね熱心に参加され、日々の業務に活かしています。最近、入院や施設入所を拒否し「最期の時まで家で暮らしたい♥」と希望される方が増えています。往診専門の医師も増えてきて在宅を希望する方には、独居でも最期の時まで我が家で暮らす方もいます。守山市は在宅サービスが医療・介護とも充実してきています”住み慣れた我が家が一番”誰もが願うことではないでしょうか…



専務理事 山田登喜子

- 【研修プログラム（全3回）】
- ①ACPの基礎研修
 - ②ACPの実践に向けての研修
 - ③グループワークによるACP事例検討



ゆうらいふトピックス
さまざまな価値観との遭遇



NP0地域共生を支える医療・介護・市民全国ネットワーク ～第3回全国の集い in 福岡 2024～ ゆうらいふから3題発表し 優秀賞を受賞しました

11月3日・4日に福岡市で全国の集いが開催されました。ケアマネジャーの諸頭幸見さんは「『住み慣れた我が家で最期の時まで』を叶える為に！～逐語録から振り返る・ケアマネジャーの役割 とは？～」のテーマで発表しました。在宅看取りを希望していた利用者が、サービス担当者会議の場で「入院の意思表示」をしたことに戸惑い、逐語録から本人の希望を丁寧に読み解き支援した事例を発表し、優秀賞を受賞しました。

介護福祉士の剣熊恵亮さんは「介護における生産性向上～間接業務の削減・ICT活用の取り組み～」のテーマで発表しました。同じく介護福祉士の小西沙希さん・岡田祐里佳さんは「リハビリサポートゆうらいふにおける自立支援～役割づくり、生きがいつくりに向けた取り組み～」のテーマで発表しました。

発表した4人は、医師の発表が多い中、介護の現場から発信し評価されたことは自信につながったと感想を述べました。

第18回日本介護支援専門員協会全国大会 in ながの で ゆうらいふケアマネジャーが発表しました

10月26日・27日に長野市で全国大会が開催され、ケアマネジャーの秀熊有里さんが「事務業務の効率化に向けての取り組みと今後の課題」のテーマで発表しました。「業務時間見える化ツール」を活用した取り組みとケアマネジャーが抱える課題についての発表には、他事業所からも共感の声が多く聞かれ関心の高いテーマであることを実感しました。

他の分科会では「共生社会」実現のためのケアマネジャーの取り組み事例が多く報告され、利用者世帯をめぐるニーズが多様化する中、ケアマネジャーに求められる役割の大きさを感じる機会となりました。



合格しました！

10月に実施されたケアマネジャー試験に2名がみごと合格！花束を贈りお祝いしました。全国的にケアマネジャー不足が深刻な一方、求められる業務の範囲は広がっています。ますます活躍が期待されるケアマネジャーに、新しい仲間が増えることを嬉しく思います！



インドネシア・レポート

10月ごろからインドネシアは雨季を迎え、毎日のように激しい雷雨に見舞われました。

外の雨水が教室内に流れ込み、授業を中断してバケツリレーをすることもありました。誰もオロオロすることなく、バケツで水を汲み始め、道具を集めてきて穴をふさぐ応急処置をしました。裸足でせっせと動いて、雨がやんだら大笑い！ そんなたくましい彼女たちをいよいよ日本に迎えます。

どうぞよろしくお願いいたします。

